

病弱特別支援学校（準する教育）高等部1年公民（現代社会） 高校公民における対話的な学びの実践へ繋げる「アクティブ10公民」の活用

東京都立光明学園 主任教諭 川口 尚人

アクティブ10公民

【番組紹介・活用回】第12回「“シェアリング”で経済が変わる!？」

商品やサービスの価格は市場の需要と供給の関係で決まり、価格は景気を左右する。情報技術の発達により拡大しているシェアリングビジネスを例に市場経済の仕組みを考える。

【授業デザイン】

現代社会（市場のしくみと景気変動）

主題名 “シェアリング”で経済が変わる!？」

ねらい シェアリングビジネスと景気変動から市場経済のしくみを考える。

<導入 5分>

- ①需要と供給とは、何だろうか。
- ②好景気、不景気とは、何だろうか。
- ③「シェアリングエコノミー」の優れている点や課題とは、何だろうか。

<展開 30分>

番組視聴（10分）

- ①需要と供給とは何だろうか、説明しよう。
 - ・需要曲線、供給曲線から均衡価格に注目する。
- ②好景気、不景気とは、何だろうか、説明しよう。
 - ・景気変動に需要・供給が関係していることを理解する。
- ③「シェアリングエコノミー」の優れている点や課題を説明しよう。
 - ・シェアリングと新しい製品の関係が景気変動にどのような影響があるかを考える。

<まとめ 15分>

○「シェアリングエコノミー」は景気に良いか悪いか、自分の考えをまとめよう。

- ・シェアリングや新しい製品と景気変動（需要・供給）の関係から、自分ならどちらを選ぶか、意見をもつ。

【授業の概要】

これまでの現代社会では、経済のしくみや経済体制の変容を学習してきた。現代の企業や市場のしくみ、景気変動を学習したので、既習の内容をさらに深めるために、番組を使ってシェアリングビジネスを例に経済について自分の考えをもつことをねらいとする。

【今回の実践における番組効果】

- 1 未経験あるいは追体験の困難な事物や事象に対して、具体的な理解の手がかりを与える。
- 3 事象の関係、構造、過程などを要約した形で示し、事象の全体的な理解を容易にする。
- 8 問題意識を向上させ、深い思考へ導く。

【授業デザインの工夫】

○教室内の視聴環境を整える

全員がテレビを見やすい環境になるように事前に教室のテレビや座席の配置を整え、ブルーレイをすぐに視聴できる環境にしておく。

○番組や他のwebサイトの活用

番組サイト内にあるクリップを生徒が見たい時に個別で振り返られるように用意しておく。

○個別に考える時間を保障し対話へとつなげる

まとめでワークシートに個別に書いてから全体で考えを交流する。全体では全員が考えを伝えることができる場を設ける。個人で考えたりワークシートに書いたりする時間を十分に確保する。



【成果と課題】

ワークシートの記述では、「中古でも安く買えるけど新しくできた物が売れなくて作った会社の収入が減る」「新しい方が着心地がいいし、他人が使った物を自分が使うのは「ちょっと…」という人が多いと思う」など番組視聴が理解の手がかりとなり、様々な視点を与えていたことがわかった。まとめの話し合い後には、「今まで新しい物しか目に入っていなかったので古い物にも目を向けていきたい」「シェアリングのメリットとデメリットがあることがわかって楽しかった」と他者の意見も参考にして自分の考えをまとめた様子が見て取れた。今回は既習内容だったので、内容理解に時間をかけずにすみ、話し合いやまとめの活動に十分な時間を確保できたことで考えを深めることができた。同じ学習スタイルを繰り返すことでワークシートのまとめ方や話し合いの仕方がスムーズになってきたために、考えたり話し合ったりする時間を十分に与えることができ、深い学びへとつながったと考えられる。